

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2024年 1月 20日

事業所名: えじそん加古川教室 サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指導スペースは狭く感じるが、落ち着いて学習出来るようにパーテーションを用意する。	はい 20名 どちらともいえない 6名 いいえ 1名 わからない 2名	学習時間は、私語を控えるように支援する。落ち着かない時は、別室での支援に切り替えて対応する。遊び時間は落ち着いた遊びを提供する。動の遊びではスペースを確保しながら安全に気を付けて行う。
	2 職員の適切な配置	既定の職員数は満たしている。	はい 23名 どちらともいえない 3名 いいえ 0名 わからない 3名	現状の事業所のとれる最善の配慮をとる。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	雑音が気になる子供にはイヤマフを用意したり、別室で支援する。	はい 24名 どちらともいえない 2名 いいえ 0名 わからない 3名	個々が快適に過ごせるように配慮した環境を整える。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子供たちが安全に気持ちよく過ごせるように清掃や消毒を毎日行う。	はい 28名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 わからない 1名	子供たちの活動に合わせて室内の環境t設定を行う。新型コロナウイルス等の感染防止のために、常に清潔な状態を維持し、密にならないように配慮する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日その日のあったことを話し合い問題点を会議やグループラインで情報交換・共有化を行っている。		今後も引き続き子供の様子や保護者の意向などの情報を共有化を行い、共通理解の上で支援を行う。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	利用者のアンケート調査を行い、改善に向け会議の場を設ける。		今後も利用者保護者の第三者評価を行い業務改善を行う
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	資質向上のため研修に積極的に参加する。		日々資質向上のため新しい情報収集を行っていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年に一度の面談を行いその都度ニーズや課題の分析をした上で計画書の作成を行っている。		保護者や利用者の思いを丁寧の聞き取り、思いやニーズに沿った計画書の作成をこころがけるようにする。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動・集団活動にわけて計画書の作成を行っている。	はい 29名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 わからない 0名	個々の苦手なところ、強みを把握しながら、どのような支援をすべきか考えて、計画書の作成をしていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	利用者全体を6グループに編集し年間2回は見直しする機会を設けている。		個々に応じて支援計画の必要な項目を記載する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個々の支援計画を共通理解しながら個々の目標が達成出来るように心がけた支援の実地を行う。	はい 29名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 わからない 0名	目標が達成出来るように、日頃から話し合い情報を共有しながら丁寧な支援を心がける
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	随時話し合いを行いながら活動プログラムの変更や調整を行う。		活動プログラムのねらいにそって、子供たちと楽しみながら行っていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、土曜日、短縮授業、長期休暇時などその都度時間割変更を行うなどなるべく希望に沿った支援を行う。	はい 25名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 わからない 4名	短縮授業、休校日などの時は、ご家庭と相談の上、臨機応変な対応を引き続き行っていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	学習支援のプログラムを基本にできる限りのイベントや戸外活動なども行っている。		学習支援を土台としながらも、楽しいプログラムや行事や季節に合わせたプログラムを導入する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	午前中職員で話し合ったものをグループ間で細かく情報交換を行い、可能な限りスムーズな運営方法を組み立てるようにしている。		その日の流れを確認し、その日の子供の支援内容を把握したうえで、支援にあたる。役割分担を明確にする。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎後、グループ間で情報交換をし、気になるところは話し合う時間を設けている。		引き続き情報共有を行っていく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	当日のケース記録で丁寧な記入を心掛け、振り返りながら改善を図っている。		主に行っている学習支援に関してはその都度意見交換を行ったり、情報共有を行い、今後の支援に取り入れていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	利用者全体を6グループに編集し年間2回は見直しする機会を設けている。		今後も定期的にモニタリングや計画書の見直しを図りながら計画書の作成を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	必要に応じて各事業所と連絡を取り合いながら担当者会議に参加している。えじそんが呼びかける時もある。		相談員支援員との意見交換を行いながら、より適切な支援を考えていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要な方の利用はありません		今後そのような対象者がいる場合はどのようにしていけばいいか検討していく
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアが必要な方の利用はありません		今後そのような対象者がいる場合はどのようにしていけばいいか検討していく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援員さんからの集約した情報提供や、送迎時、学校の先生との情報共有することもある		学校と連携を取りながら情報共有を行っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要があればその都度情報共有を行っていききたい		相談員支援員と情報を共有をしながら就労へとつなげていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	参加できる範囲で研修に参加している。		専門機関での結果の情報を共有する
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流を望まれるご家族は少ない。	はい 9名 どちらともいえない 0名 いいえ 5名 わからない 14名 (1人無回答)	時勢により、現在は積極的に取り入れは保留としている。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在のところご家族の希望としても伺っておらず、そのような行事の開催は予定していない。		時勢により、現在は積極的に取り入れは保留としている

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明させて頂き、問い合わせがあった場合にはその都度説明しています。	はい 27名 どちらともいえない 2名 いいえ 0名 わからない 0名	現状の対応を引き続き行っていくようにする。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	毎回面接時等で現状報告を含め細かく説明し、児童にあった計画支援内容の説明をしています。	はい 28名 どちらともいえない 1名 いいえ 0名 わからない 0名	現状の対応を引き続き行っていくようにする。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	その都度、一緒に考えたりアドバイスをおこなっていますが不十分なところもあります。	はい 15名 どちらともいえない 1名 いいえ 4名 わからない 9名	面談時や送迎時に保護者の対応は行っているが、こちらの持ちかけも行っていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	面談や送迎時での対話、連絡帳への記入、LINEなどで出来る限りの共通理解が得られるように努力している。	はい 27名 どちらともいえない 1名 いいえ 1名 わからない 0名	日々連絡帳で様子を伝えたり、何かあった時は、送迎時に話すように心掛けているので、今後も引き続き行っていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	面談や送迎時での対話、連絡帳への記入、LINE、又はご家族と調整のうえ、随時に面談のばを設けることもある。	はい 26名 どちらともいえない 1名 いいえ 2名 わからない 0名	今後もしできる限りご相談を受け付け、対応する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ流行に伴い今年度は計画できていない。	はい 5名 どちらともいえない 6名 いいえ 5名 わからない 13名	保護者のニーズに応じて開催を決定するようにする。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	今のところ大きな苦情はないが、何かあればその都度状況説明は行っている。	はい 23名 どちらともいえない 1名 いいえ 0名 わからない 5名	苦情対応にはその都度迅速に対応し、改善していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	わかりやすく状況を伝え説明している。	はい 27名 どちらともいえない 1名 いいえ 0名 わからない 1名	今後も情報伝達が出来るように工夫していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事予定に関しては適時発行している。臨時にお知らせがある場合はその都度、書面作成やLINEでお知らせしている。	はい 27名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 わからない 2名	毎月の通信(おたより)やラインなどで分かりやすくお知らせをする
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	ブログの写真掲載に関しては引き続き注意していく。個人情報の記載のある書類破棄にも注意を払い行っている	はい 27名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 わからない 2名	今後とも個人情報の取り扱いには注意する。職員間で徹底する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを毎年直し、保護者・職員に配布するようにする	はい 23名 どちらともいえない 2名 いいえ 0名 わからない 4名	マニュアルを毎年見直し職員間で共有化を行っていく。新規の方にはその都度説明している。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練は年3回行っている。	はい 26名 どちらともいえない 0名 いいえ 0名 わからない 3名	年間計画を立て、避難訓練を行うようにする。必ず実施したことを保護者の方へ周知していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	シフトを調整し、可能な限り参加している。		今後とも可能な限り研修に参加し、職員間でも情報共有やミーティングを行う。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束が必要な児童はいない、契約時の説明できないやむを得ない場合の了承はえている。		今後ともご家族と綿密な連絡を行い、スムーズな支援につながるように心がけていく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	見学、契約時に確認を行っている。対応が必要な方のリストを厨房に貼っている。		新規利用者の方には注意して聞き取りを行い、対応する。職員間で把握しておく
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事故報告書等の作成を行っている。ヒヤリハットについてはその都度話し合い、気をつけるように心がけ、改善できるところは改善している。		当日起こったことについては、職員間のグループライン等で伝達し意識統一を図り、支援の改善につなげる。